

Press Release

2009年3月11日
株式会社ネットスプリング

認証アプライアンスサーバ「AXIOLE」の IEEE802.1X 対応版をリリース

ユーザIDによる Web 認証、802.1X 認証や MAC アドレス認証に対応

ネットワーク機器の開発、販売およびネットワークシステムの構築、運用保守を行う株式会社ネットスプリング（本社：東京都港区、代表取締役：西武 進）は、認証サービスのプラットフォームとして動作する LDAP ベースの ID 管理用の認証アプライアンスサーバ「AXIOLE（アクシオレ）」の最新版「AXIOLE Version1.4」を、3月11日よりリリースします。

AXIOLE は、ネットワーク認証にフォーカスした製品で、導入・運用管理の容易性と外部連携の柔軟性に優れているのが特徴。認証サーバに必要なスキーマをあらかじめ構築しているため、ディレクトリ設計など煩雑な作業を必要とせず手軽に導入することが可能です。



認証アプライアンスサーバ「AXIOLE」

今回リリースする AXIOLE の最新版（Version1.4）は、「IEEE802.1X 認証」に正式に対応したバージョンです。802.1X 認証で、多く利用されている EAP-TTLS や EAP-MD5 や PEAP をサポートしており、一般的な 802.1X 認証対応クライアント機器の認証サーバとして AXIOLE を利用することが可能です。また、PC からの 802.1X 認証には WindowsOS や MacOS にバンドルされているサブリカントの利用も可能で、その他、認証スイッチ(SW)や VPN 装置と組み合わせて利用することもできます。

従来バージョンの AXIOLE においても、802.1X 認証とは別に独自に Cisco 製 Catalyst や日立電線製 Apresia 等の特定の認証 SW では MAC アドレス認証が可能でしたが、本リリースからは、ユーザ ID での Web 認証と MAC アドレスプールでの認証に加えて 802.1X 認証が可能となり、多様な認証方式を複合して提供できます。AXIOLE と組み合わせて、このような高度な認証方法で動作を確認済みの認証装置には現在、弊社製 FEREC、認証 SW のアラクサラネットワーク製 AX1200 シリーズ、日立電線製 Apresia シリーズ等があり、今後、Cisco 製 Catalyst をはじめ各社製の認証 SW や無線 LAN 用 AP にも順次対応を予定しています。

今回の最新版の投入により、ネットワーク認証におけるセキュリティ高度化要求や統合化ニーズに対応し、導入企業の TCO を削減できる ID 管理用の認証システムを提供することが可能となります。

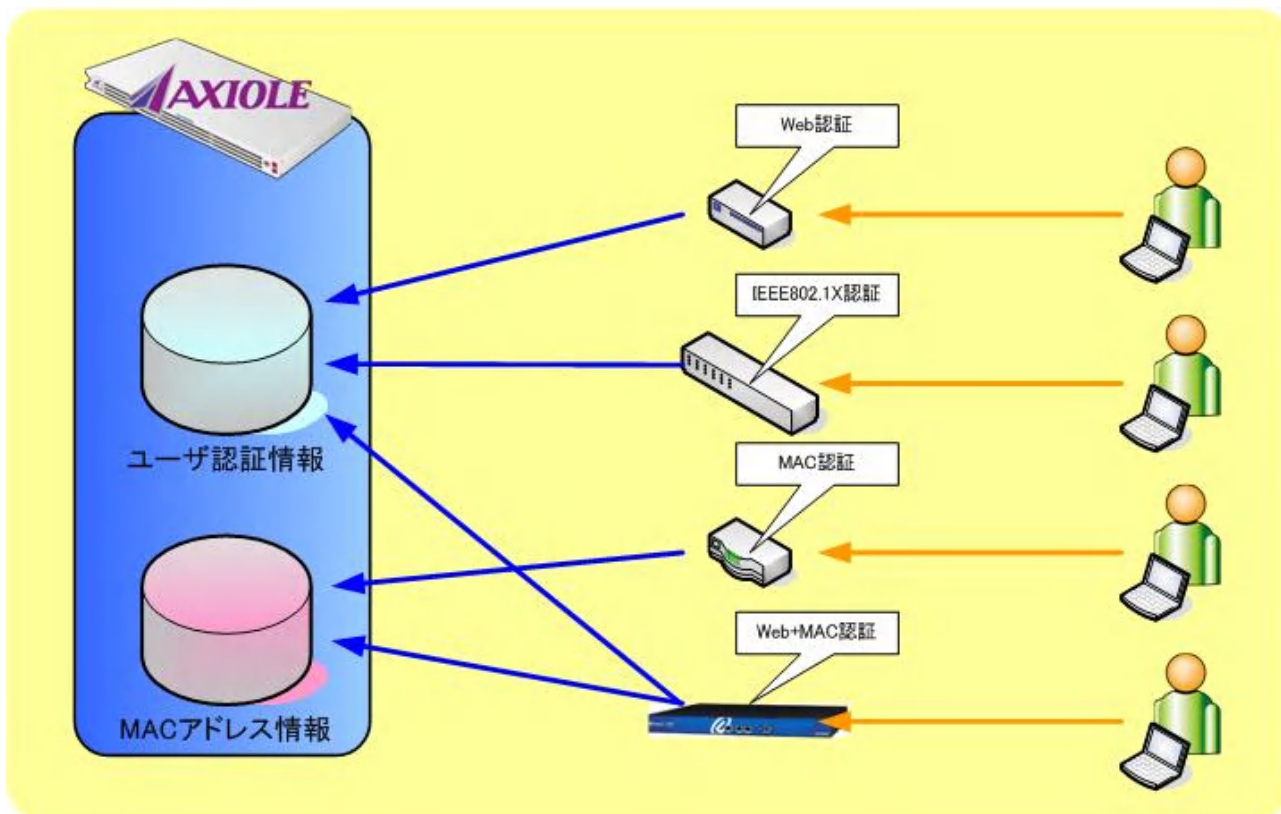
【Version 1.4 の主な追加機能】

- ・IEEE802.1X 認証機能 EAP-TLS、EAP-TTLS、PEAP、EAP-MD5 のサポート
- ・RADIUS 認証機能 MS-CHAP v1/v2 対応、トンネル関連属性追加（Tunnel-*-*）

【Version 1.4 のその他の追加機能】

- ・CSV によるインポート機能拡張 従来に加えて属性を選択した更新が可能
- ・ユーザWebGUIにおけるロゴや著作権の非表示選択が可能
- ・Windows2008AD 連携サポート、その他改善等

【概略図】AXIOLE Version1.4 を利用したネットワーク認証



【バージョンアップ】

AXIOLE のオンラインダウンロードサイトからバージョンアップが可能。

<http://www.axiole.jp/>

【株式会社ネットスプリング 会社概要】

本社所在地：東京都港区三田 3-12-16 山光ビル 2F

TEL：03-5440-7337 FAX：03-5440-7338

代表者：代表取締役 西武 進（にしたけ すすむ）

設立：2000年3月

資本金：8075万円

社員数：25名

事業内容：ネットワーク関連製品の企画・開発・販売
ネットワーク関連の提案・構築・運用・サポート
ネットワークに関するコンサルティング

URL：<http://www.netspring.co.jp/>

<http://www.axiole.jp/>

<http://www.ferec.jp/>

一般読者からのお問い合わせ先：

株式会社ネットスプリング <http://www.netspring.co.jp/>

TEL：03-5440-7337 E-mail：info@netspring.co.jp

本件に関する報道関係のお問い合わせ先：

株式会社ネットスプリング 広報代理（株）アルサーブ 担当：河端

TEL：03-5297-8808 FAX：03-5297-8807 E-mail：netspring@alsarpp.co.jp

<資料 1>

■認証アプライアンスサーバ「AXIOLE」について

●AXIOLE の概要

認証サービスのプラットフォームとして動作する LDAP ベースの ID 管理用の認証アプライアンスサーバ「AXIOLE」(アクシオレ)は、ネットワーク認証に必要な機能だけを取りそろえ、使いやすくアプライアンス化しているため、統合認証システムの設計・構築・運用・保守において多大なコストが発生せず、TCO の削減に寄与します。AXIOLE は、LDAP/RADIUS 認証をサポートしており、ネットワーク上のさまざまな機器やサービスからの認証要求に応えることが可能。さらに複数の LDAP サーバや ActiveDirectory(AD)との連携ができるため、AXIOLE に仮想的に ID 管理 (ユーザアカウント) を集約することができます。また、Mirapoint 社製メールサーバとの連携をはじめ特定のシステム向けの ID 管理用のワンポイントソリューションとしても手軽に導入が可能です。

●AXIOLE の特長

1. 導入・運用管理が容易

認証サーバに必要なスキーマをあらかじめ構築しているため、ディレクトリの設計や設定等の煩雑な作業を省き、最小限の設定のみで運用を開始できます。すべての設定・管理は Web ブラウザから行うことができ、特別なソフトウェアをインストールする必要がありません。パスワードの変更や、パスワードを忘れてしまった際の再発行も、管理者の手を煩わせることなく、ユーザ自身が直接 Web UI 画面から行うことができます。テキストファイルからのインポートに対応し、アカウントデータの一括登録が可能。

2. 外部 LDAP サーバや Active Directory と連携可能

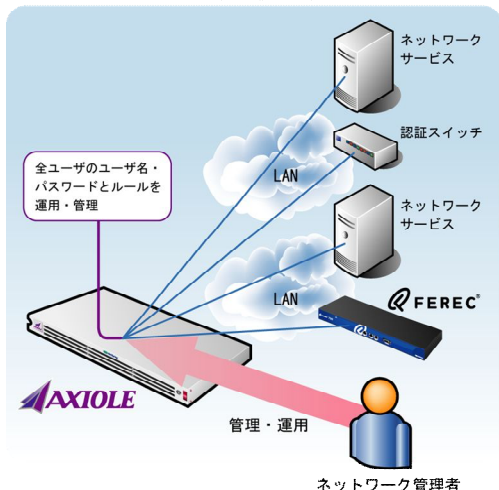
複数の既存 LDAP サーバや Active Directory と容易に連携し、ユーザ情報をこれらの外部サーバに問い合わせることができ、アカウントを集約して認証サービスを提供することができます。アイデンティティ情報のみを連携させて、セキュリティポリシーはサービス毎に独自に設定することが可能。ネットワーク管理者の手を離れた既存の業務系 LDAP サーバに手を加えることなく、新たな認証環境を構築できます。

3. 複合認証による高セキュリティを実現

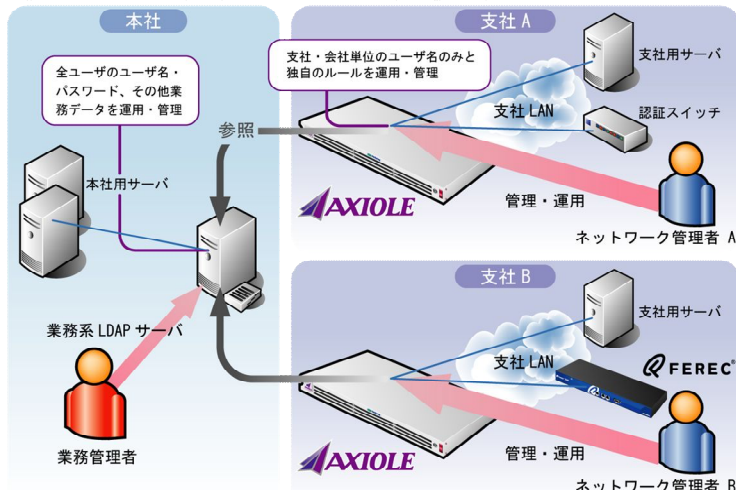
ユーザごと「人」に、利用できる「時間」(日付・曜日、時間帯)および「場所」(IPアドレス)の属性を追加した複合的な認証が可能。より厳密な認証条件を加えることにより、不正アクセスの防止を強化できます。

●AXIOLE を用いたネットワーク構成例

■AXIOLE 単独でアカウント管理を行う場合



■複数のネットワーク管理者が個別にアカウント管理を行う場合



<資料 2>

■「AXIOLE」製品仕様

型番		AXS100-01	AXS100-02	AXS100-04	AXS100-07	AXS100-10
認証機能	認証プロトコル	LDAP/LDAPS、RADIUS、IEEE802.1X				
	アカウント数	1000	2000	4000	7000	10000
	グループ数	200				
	ルール数	1000				
設定・管理	設定・管理方法	WebUI				
	ログ	syslog/WebUI での閲覧および WebUI からのダウンロード				
本体仕様	ディスク	HDD × 2 RAID-1 (ホットスワップ対応)				
	イーサネット インタフェース	10/100/1000Base-T 4 ポート (内 2 ポートはメンテナンス用)				
	シリアルインタフェース	1 ポート Dsub9 ピン				
	外形寸法	437(W) × 43(H) × 503(D)mm 突起部分含まず				
	重量	14.1 kg				
	電源	AC100~240 300W 50/60Hz				
	動作環境	温度: 10~35°C 湿度: 8~90% (結露しないこと)				
主な付加機能		<ul style="list-style-type: none"> ■多数のユーザ情報やポリシー情報から効率的に検索できる検索機能 ■WebUI によるユーザパスワードの変更機能と再発行機能 ■Active Directory および外部 LDAP サーバとの認証連携機能 ■テキストファイルのインポート/エクスポートによるアカウントなどの一括管理機能 ■MAC アドレスによる認証制限機能 (RADIUS 認証のみ対応) ■AXIOLE 2 台による冗長構成が可能 				
製品価格 (各税別)		99 万円	105 万 6,000 円	118 万円	138 万円	158 万円
ライセンス更新費 (各税別)		24 万 6,000 円	31 万 2,000 円	44 万 4,000 円	59 万 2,000 円	74 万円

※製品価格には、1 年目のライセンス費用、基本保守費用が含まれています。

※2 年目以降、継続使用する場合は、ライセンス更新費用がかかります。複数年割引パッケージがあります。